

寿楽院寺報

〒369-1245 深谷市荒川983

高野山真言宗 荒瀬山 寿楽院

住職 高橋 敬行

電話 048-584-0302

まかせいのち

一年を振り返ってみるといろいろな事がありました。

寿楽院としては、庫裡の玄関改造、畳替え、また、前号で報告の通り、お大師さんの偉業に対して、平成二十七年の高野山開創一千二百年記念大法会を間近に迎えるに当たり、本山の計画で、空海修行の地である中国での報恩法要を予定し、それに住職も参加のつもりでしたが、中国の反日デモのために中止となり誠に残念ですが実施できませんでした。また、聖天様の境内に大きな庭石三個、黒田の沼尻均氏寄贈により境内らしく立派に造園されました。「十月二十七日」

寿楽院総代さんと岐阜県の飛騨高山へ宿泊して、白川郷・五箇山などへ研修旅行をいたしました。そのときの「コマ」です。
(十一月十二・十三日)



歓喜(かんぎ)

歓喜は、普通の喜びよりも、深い喜びや、大きな喜びを意味する言葉で、多くの仏教經典にもしばしば出てきます。特にブツダの教えを聞くことによって身も心も喜ぶということである。

わが国の密教寺院に祀られている大聖歓喜自在天「略して歓喜天・聖天などという」は、あらゆる障害・困難を排除して、仏法を守護し、衆生の諸々の願望を成就される事も説かれ、多くは秘仏とされているが、夫婦和合や子授けの神として信仰を集めている。

仏教が生んだ日本語



空海の言葉 シリーズ

医王の目には

途に触れて皆薬なり

「般若心経秘鍵」

●●、優れた医者には道端に生えている雑草を見ても、それがなんの薬になるかを知っている。

昔から名医は、馬の小便、牛の糞、一本の草を見ても、それが毒か薬かを見分ける目を持っていました。弘法さんは、般若心経を読む時は、一字一字を優れたお医者さんのような目で追って、ここをこめて、真剣に唱えなさい！と、忠告されているのです。

